

1	審議会名	真田地域協議会
2	日時	令和元年11月19日(火) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	内海清和 委員、金子幸恵 委員、倉嶋幸雄 委員、甲田忠夫 委員、小林恵 委員、 関千恵子 委員、中川ひろ子 委員、長崎理恵子 委員、半田令子 委員、堀内育子 委員、 松本規男 委員、柳沢泉 委員、横林岳 委員
5	市側出席者	山崎センター長、塚田地域振興課長、杉山市民サービス課長 桜井産業観光課長、宮沢建設課長、柳沢真田消防署長、 宮崎課長補佐、若林主査、飯島主査、望月主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和元年11月29日

協議事項等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ

4 協議事項

地域の特性と発展の方向性について

(宮崎補佐) 協議方針説明

① 全員参加の地域づくりの推進(塚田地域振興課長) 説明

◆(委員) 検証シートの中で推進会議のまちづくり計画とあるが、今やろうとしているタイトルのまちづくり計画とは別物ということでしょうか。

(塚田地域振興課長) 異なるものだ。ここに記載があるのは住民自治組織が策定を進めているまちづくり計画であり、「まちづくり」という言葉が複数出てくるが、市で進めようとしている総合計画と、住民自治組織のまちづくり計画は別物である。

② 魅力ある農業の成長産業化への推進(桜井産業観光課長) 説明 質問等なし

③ 地域資源を生かした観光振興(桜井産業観光課長) 説明

(委員) 推進と産学官とあるが、学とは具体的にどこか。

(桜井産業観光課長) 具体的な名前は筑波大学である。

④ 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備(宮沢建設課長) 説明 質問等なし

⑤ 安心して暮らせる地域づくり(杉山市民サービス課長) 説明(塚田課長) 説明

◆(委員) 今年八月に上田地域の大規模避難訓練があった。この時各自治会で意見としてでたのが、ページング放送と有線放送を情報伝達手段として使ったという中で、今回台風の件について真田地域の有線放送に加入している人が減少している状況があり、今回災害時にも有線放送が使えなくなった。我々自治会長も避難誘導等非常に困ったこともあり、有線については今後加入率が下がることが見込まれる中で、緊急時の情報伝達として災害時の初動伝達方法を考えていただきたいがいかがか。

(塚田地域振興課長) 有線放送の加入率が下がる中で、全市的なあらたな情報伝達手段を考えていかなければいけないと考えているのは事実であるが、それについてもぜひとも本見直しの中で盛り込んでいただきたい。

◆(委員)高齢化が進む中でメール配信などは難しい面がある。消防の方も半鐘も撤去されていく。現代化の中で高齢者にとって情報を得る方法が難しくなってくると思うので、またなにかそういった方法を考えていただければと思う。

(塚田地域振興課長)有線については有線放送審議会を立ち上げており、あり方を検討していただいている。ただ委員から御意見があったように、加入率が 50%を切る中で、かつては有線放送が災害時の情報伝達の唯一の手段だったということも言えたが、こういう加入率では上田市全体では防災メールが中心になっているという状況である。ただ高齢者にとって防災メールが使えるか、という問題はあるし、市では電話や fax で緊急情報を入手できるという手段もとっているのでそれらを PR していく。ただ、今後は新たな情報発信手段を考えていかなければならないということも考えている。後期の部分ではそのような内容をも盛り込んでいきたいと我々も考えている。

◆(委員)自治会ウォーキングとは初めて聞いたのだが教えて欲しい。

(杉山市民サービス課長)各自治会の健康推進委員または自治会長にお願いして、5人以上の希望者がある自治会に対して、真田スポーツクラブの方を講師として、ウォーキングの仕方や実践の指導を行うと共に、体力測定や今後の生活習慣病予防もかねて5年ほど前から始めている。29・30年度では各年6自治会ほどずつウォーキングに参加していただいている。希望があればセンターの方に御連絡をお願いしたい。

⑥地域に根ざした生涯学習と生涯スポーツの促進(宮崎所長) 質問等なし

(宮崎課長補佐)補足のお願い。先ほど質問にもあった「まちづくり計画」について、同じ言葉が三種類ある。まず、資料1中に記載のまちづくり、それから資料No.2の一番上の「後期まちづくり計画」、それから先ほど御質問のありました住民自治組織のまちづくり計画。まず、資料1に記載の『まちづくり計画』については、現在上田市総合計画審議会が結成され、60名程度の委員が委嘱され10月3日から審議が始まっている。行財政部会、市民生活環境部会、産業経済部会、福祉部会、教育文化部会、総合戦略部会と6つの部会ですすでに内容の見直しを検討している。そのため、本会中ではこちらの検討は行わない。つぎに、資料No.2で触れる後期まちづくり計画「地域の特性と発展の方向性」について。資料No.2の裏面、こちらは皆さんが検討を進める内容になる。この策定の趣旨は、先ほども触れたが、真田地域が目指す、地域の特性と発展の方向性であるためこちらを審議していただく。真田地域の特性と、真田地域の発展の方向性について地域協議会で考えていただくものである。表中の後期まちづくり計画の策定に合わせてみなおす、という事になっている。最後は、先ほどのとおり真田地域の住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」がすすめる地域まちづくり計画となっている。

今回こちらの会議では「地域の特性と発展の方向性」について御審議いただくことになっている。

5 報告・確認事項

(1) 次回協議会開催日時の確認

令和元年12月17日(火) 午後7時から開催

(2) その他

(事務局)

配布資料として、武石地域センターだよりの災害特集と武石地域協議会活動日誌の写しを配布した。また真田の郷まちづくり推進会議から資料をお預かりしたのでそれぞれ目を通して欲しい。

6 閉会

・全体会終了後に第一分科会、第二分科会に分かれて協議。